



2026年6月期 決算短信(日本基準)(連結)



上場会社名 澁谷工業株式会社

コード番号 6340 URL <https://www.shibuya.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澁谷 英利

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 宮前 和浩

定時株主総会開催予定日 2026年9月25日 配当支払開始予定日 2026年9月28日

有価証券報告書提出予定日 2026年9月24日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

2026年8月13日

上場取引所 東 名

TEL 076-262-1201

(百万円未満切捨て)

1. 2026年6月期の連結業績(2025年7月1日～2026年6月30日)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期	135,613	5.1	13,081	4.9	13,560	1.5	10,223	1.7
2025年6月期	129,017	11.8	13,749	2.7	13,773	1.6	10,052	2.8

(注) 包括利益 2026年6月期 13,860百万円 (41.3%) 2025年6月期 9,807百万円 (23.3%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年6月期	369.52	—	9.0	8.2	9.6
2025年6月期	363.34	—	9.6	8.6	10.7

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年6月期	173,280	119,091	68.7	4,304.28
2025年6月期	159,426	107,930	67.7	3,900.84

(参考) 自己資本 2026年6月期 119,083百万円 2025年6月期 107,921百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年6月期	5,280	10,740	3,605	36,700
2025年6月期	9,069	6,619	3,812	45,291

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年6月期	—	45.00	—	50.00	95.00	2,628	26.1	2.5
2026年6月期	—	47.50	—	52.50	100.00	2,766	27.1	2.4
2027年6月期(予想)	—	55.00	—	65.00	120.00		30.2	

3. 2027年 6月期の連結業績予想(2026年 7月 1日～2027年 6月30日)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	150,000	10.6	16,000	22.3	16,200	19.5	11,000	7.6	397.60

注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数

2026年6月期	28,149,877 株	2025年6月期	28,149,877 株
2026年6月期	483,606 株	2025年6月期	483,519 株
2026年6月期	27,666,275 株	2025年6月期	27,666,474 株

(参考) 個別業績の概要

2026年6月期の個別業績(2025年7月1日～2026年6月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期	99,726	6.0	10,650	7.8	11,638	1.6	8,672	1.3
2025年6月期	94,069	13.8	9,884	3.2	11,452	12.9	8,784	17.5

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期	313.48	—
2025年6月期	317.50	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年6月期	135,611	94,843	69.9	3,428.12
2025年6月期	127,045	87,578	68.9	3,165.51

(参考) 自己資本 2026年6月期 94,843百万円 2025年6月期 87,578百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束するものではありません。よって、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等の注記)	12
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
4. その他	17
(1) 受注の状況	17
(2) 役員の異動	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、個人消費や設備投資の持ち直しなどにより国内景気は緩やかな回復が見られるものの、構造的な人手不足による人件費の上昇や原材料価格・エネルギーコストの高騰に加え、中東情勢など国際情勢の不安定化により、景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

このような状況のなか、当社グループの連結売上高は1,356億13百万円（前期比5.1%増）となりましたが、メカトロシステム事業および農業用設備事業が減益となったことから、営業利益は130億81百万円（前期比4.9%減）、経常利益は135億60百万円（前期比1.5%減）となり、親会社株主に帰属する当期純利益は102億23百万円（前期比1.7%増）となりました。なお、売上高は過去最高を更新しました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

〔セグメント別の売上高〕

（単位：百万円）

セグメントの名称	前連結会計年度	当連結会計年度	対前年比
			%
パッケージングプラント事業	80,081	84,041	+4.9
（酒類用プラント）	（ 3,249 ）	（ 4,816 ）	（ +48.2 ）
（食品用プラント）	（ 59,091 ）	（ 57,433 ）	（ △2.8 ）
（薬品・化粧品用プラント）	（ 14,703 ）	（ 18,723 ）	（ +27.3 ）
（その他）	（ 3,037 ）	（ 3,068 ）	（ +1.0 ）
メカトロシステム事業	37,765	38,997	+3.3
農業用設備事業	11,170	12,574	+12.6
合 計	129,017	135,613	+5.1

（パッケージングプラント事業）

パッケージングプラント事業の売上高は、食品用プラントは調味料充填システムおよび飲料無菌充填システムが減少したものの、酒類用プラントは清酒充填システムが増加し、薬品・化粧品用プラントは注射薬シリンジ充填システムや点眼剤充填システム、化粧品充填システムが増加したことから、前連結会計年度に比べ増加しました。

その結果、売上高は840億41百万円（前期比4.9%増）、営業利益は132億39百万円（前期比5.3%増）となりました。

（メカトロシステム事業）

メカトロシステム事業の売上高は、半導体製造システムはデータセンター向け光通信モジュール用ボンダが好調に推移していることから増加し、医療機器は部品不足の解消に伴い第3四半期より増産を行った結果、北米など海外向けが増加したことから、前連結会計年度に比べ増加しました。

その結果、売上高は389億97百万円（前期比3.3%増）となりましたが、損益面については、半導体製造システムにおいて付加価値の高い機種種の販売割合が減少したこと、また医療機器において、前連結会計年度に発生した部品の耐久性問題に関して交換の実施に伴う追加費用が発生したことから、営業利益は17億81百万円（前期比23.9%減）となりました。

（農業用設備事業）

農業用設備事業の売上高は、落葉果樹類向け選果選別プラントが減少したものの、柑橘類向けおよび蔬菜類向け選果選別プラントが増加したことにより、前連結会計年度に比べ増加しました。

その結果、売上高は125億74百万円（前期比12.6%増）となり、損益面については、一部の大型プラントで採算性の低い案件があったことに加えて、新本社工場の完成に伴う償却負担の増加も影響したことから、営業利益は5億20百万円（前期比50.1%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産については、主として売上債権および契約資産が80億56百万円、有形固定資産が46億8百万円増加したことから、前連結会計年度末に比べ138億54百万円増加し1,732億80百万円となりました。

負債については、主として固定資産の取得に伴う未払金（流動負債の「その他」に含まれる）が39億56百万円増加したことから、前連結会計年度末に比べ26億92百万円増加し541億88百万円となりました。

純資産については、主として親会社株主に帰属する当期純利益の計上により利益剰余金が75億25百万円増加したこと、また、その他の包括利益累計額が36億36百万円増加したことから、前連結会計年度末に比べ111億61百万円増加し1,190億91百万円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況については次のとおりであります。

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当連結会計年度	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,069	5,280	△3,788
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,619	△10,740	△4,121
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,812	△3,605	207
現金及び現金同等物の期末残高	45,291	36,700	△8,590

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、52億80百万円の資金増加（前期は90億69百万円の資金増加）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益が143億17百万円となり、売上債権及び契約資産の増加額78億18百万円、仕入債務の減少額19億55百万円および法人税等の支払額42億53百万円による資金減少があったものの、非資金項目である減価償却費34億31百万円による資金増加があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、107億40百万円の資金減少（前期は66億19百万円の資金減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出42億66百万円、定期預金の預入による支出104億41百万円および定期預金の払戻による収入34億40百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、36億5百万円の資金減少（前期は38億12百万円の資金減少）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出9億7百万円および配当金の支払額26億95百万円によるものであります。

これらの結果、現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末より85億90百万円減少し367億円（前期比19.0%減）となりました。

(ご参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2023年6月期	2024年6月期	2025年6月期	2026年6月期
自己資本比率（％）	63.3	62.4	67.7	68.7
時価ベースの自己資本比率（％）	51.1	61.0	56.0	70.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）	1.2	0.4	0.4	0.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	147.3	278.7	296.7	223.7

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※ 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

※ 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

（４）今後の見通し

今後の見通しにつきましては、景気はAIの普及に伴う半導体需要の増加などのプラス要因がある一方、構造的な人手不足による人件費の上昇や原材料価格・エネルギーコストの高騰に加え、中東情勢など国際情勢の不安定化など、先行き不透明な状況が続くものと見込まれます。

このような状況のなか、次期のパッケージングプラント事業の売上高は、主力の飲料無菌充填システムは海外の顧客が世界経済の動向により設備投資に慎重な姿勢となっているものの大型の投資案件が控えており、また製薬設備システムおよび調味料充填システムが伸びるものと見込まれることから、増加を見込んでおります。

メカトロシステム事業の売上高は、半導体製造システムはAIデータセンター関連の需要が継続し、また医療機器は海外向け透析装置の需要拡大が期待できることから、増加を見込んでおります。

農業用設備事業の売上高は、国の補助事業である「新基本計画実装・農業構造転換支援事業」により老朽化した選果場の再編・集約需要が拡大し、選果選別プラントへの投資が堅調に推移することから、増加を見込んでおります。

以上により、次期の連結業績予想は、売上高は1,500億円（当期比10.6%増）、営業利益は160億円（当期比22.3%増）、経常利益は162億円（当期比19.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は110億円（当期比7.6%増）としております。

（５）利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

利益配分につきましては、当社の基本的な考えは将来の収益向上と成長投資のために健全な財務体質を維持し、また株主へも安定的な配当を実施すること、そして1株当たり利益の長期・持続的な向上をとおして株主還元を行う方針であります。

当期の配当金につきましては、前期に比べ5円増配の1株あたり100円を予定しております。既に中間配当として1株あたり47.5円を実施しておりますので、期末配当は1株あたり52.5円を第78回定時株主総会に付議する予定であります。

なお、次期の年間配当金につきましては、1株あたり120円（中間配当金55円、期末配当金65円）を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際会計基準に基づく連結財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年 6 月 30 日)	当連結会計年度 (2026年 6 月 30 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	45,579	44,008
受取手形	1,422	471
電子記録債権	9,846	13,384
売掛金	15,467	17,739
契約資産	11,472	14,670
製品	302	312
仕掛品	10,598	10,083
原材料及び貯蔵品	6,491	6,739
その他	4,415	3,832
貸倒引当金	△22	△23
流動資産合計	105,574	111,218
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	24,343	24,308
機械装置及び運搬具（純額）	2,816	2,900
土地	14,272	14,273
建設仮勘定	741	4,990
その他（純額）	1,635	1,946
有形固定資産合計	43,810	48,418
無形固定資産		
その他	538	496
無形固定資産合計	538	496
投資その他の資産		
投資有価証券	3,639	5,543
退職給付に係る資産	5,148	7,110
繰延税金資産	230	10
その他	503	501
貸倒引当金	△19	△19
投資その他の資産合計	9,502	13,146
固定資産合計	53,852	62,061
資産合計	159,426	173,280

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年 6 月 30 日)	当連結会計年度 (2026年 6 月 30 日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,629	14,723
電子記録債務	2,778	2,806
短期借入金	907	863
未払法人税等	2,272	1,894
未払費用	6,784	5,786
契約負債	11,314	12,451
賞与引当金	508	536
受注損失引当金	71	2
製品保証引当金	48	31
その他	1,407	6,192
流動負債合計	42,723	45,289
固定負債		
長期借入金	2,789	1,925
退職給付に係る負債	5,767	5,296
役員退職慰労引当金	144	77
繰延税金負債	9	1,545
その他	62	55
固定負債合計	8,773	8,899
負債合計	51,496	54,188
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,392	11,392
資本剰余金	10,350	10,350
利益剰余金	82,443	89,969
自己株式	△442	△442
株主資本合計	103,743	111,268
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,465	2,767
為替換算調整勘定	825	1,455
退職給付に係る調整累計額	1,887	3,591
その他の包括利益累計額合計	4,178	7,814
非支配株主持分	8	8
純資産合計	107,930	119,091
負債純資産合計	159,426	173,280

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年 7 月 1 日 至 2025年 6 月 30 日)	当連結会計年度 (自 2025年 7 月 1 日 至 2026年 6 月 30 日)
売上高	129,017	135,613
売上原価	103,810	110,376
売上総利益	25,206	25,236
販売費及び一般管理費	11,457	12,155
営業利益	13,749	13,081
営業外収益		
受取利息	15	41
受取配当金	76	111
為替差益	—	158
スクラップ売却益	45	45
その他	103	191
営業外収益合計	240	548
営業外費用		
支払利息	29	22
租税公課	23	33
為替差損	150	—
保険解約損	—	8
その他	12	4
営業外費用合計	216	70
経常利益	13,773	13,560
特別利益		
固定資産売却益	1	70
投資有価証券売却益	—	20
補助金収入	362	716
その他	10	—
特別利益合計	374	808
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産処分損	3	50
特別損失合計	4	51
税金等調整前当期純利益	14,144	14,317
法人税、住民税及び事業税	4,316	3,737
法人税等調整額	△225	355
法人税等合計	4,091	4,093
当期純利益	10,053	10,223
非支配株主に帰属する当期純利益	0	0
親会社株主に帰属する当期純利益	10,052	10,223

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年 7 月 1 日 至 2025年 6 月 30 日)	当連結会計年度 (自 2025年 7 月 1 日 至 2026年 6 月 30 日)
当期純利益	10,053	10,223
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	374	1,301
為替換算調整勘定	△473	631
退職給付に係る調整額	△146	1,704
その他の包括利益合計	△245	3,636
包括利益	9,807	13,860
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	9,806	13,859
非支配株主に係る包括利益	0	1

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	11,392	10,350	75,296	△441	96,597
当期変動額					
剰余金の配当			△2,904		△2,904
親会社株主に帰属する 当期純利益			10,052		10,052
自己株式の取得				△1	△1
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	7,147	△1	7,145
当期末残高	11,392	10,350	82,443	△442	103,743

	その他の包括利益累計額				非支配 株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	1,090	1,299	2,034	4,424	7	101,029
当期変動額						
剰余金の配当						△2,904
親会社株主に帰属する 当期純利益						10,052
自己株式の取得						△1
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	374	△473	△146	△245	0	△245
当期変動額合計	374	△473	△146	△245	0	6,900
当期末残高	1,465	825	1,887	4,178	8	107,930

当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	11,392	10,350	82,443	△442	103,743
当期変動額					
剰余金の配当			△2,697		△2,697
親会社株主に帰属する 当期純利益			10,223		10,223
自己株式の取得				△0	△0
連結子会社株式の取得に よる持分の増減		0			0
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	0	7,525	△0	7,525
当期末残高	11,392	10,350	89,969	△442	111,268

	その他の包括利益累計額				非支配 株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	1,465	825	1,887	4,178	8	107,930
当期変動額						
剰余金の配当						△2,697
親会社株主に帰属する 当期純利益						10,223
自己株式の取得						△0
連結子会社株式の取得に よる持分の増減						0
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	1,301	630	1,704	3,636	0	3,636
当期変動額合計	1,301	630	1,704	3,636	0	11,161
当期末残高	2,767	1,455	3,591	7,814	8	119,091

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年 7 月 1 日 至 2025年 6 月 30 日)	当連結会計年度 (自 2025年 7 月 1 日 至 2026年 6 月 30 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	14,144	14,317
減価償却費	3,028	3,431
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△174	△121
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	240	179
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△21	△67
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△8	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	49	28
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	10	△69
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	△116	—
受取利息及び受取配当金	△91	△152
支払利息	29	22
補助金収入	△362	△664
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△20
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	7,515	△7,818
契約負債の増減額 (△は減少)	△6,654	845
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,650	486
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,653	△1,955
前渡金の増減額 (△は増加)	△1,046	1,371
未払又は未収消費税等の増減額	362	1,219
その他	614	△1,615
小計	14,214	9,418
利息及び配当金の受取額	92	139
利息の支払額	△30	△23
法人税等の支払額	△5,206	△4,253
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,069	5,280
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△432	△10,441
定期預金の払戻による収入	431	3,440
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	—	30
有形固定資産の取得による支出	△6,778	△4,266
有形固定資産の売却による収入	6	42
無形固定資産の取得による支出	△201	△182
補助金の受取額	362	664
その他	△6	△26
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,619	△10,740
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△907	△907
配当金の支払額	△2,902	△2,695
その他	△2	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,812	△3,605
現金及び現金同等物に係る換算差額	△240	474
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,603	△8,590
現金及び現金同等物の期首残高	46,894	45,291
現金及び現金同等物の期末残高	45,291	36,700

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品の販売、生産体制やサービスの類似性を基準とした事業部門を設置しており、各事業部門は包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは事業部門を基礎としたセグメントから構成されており、「パッケージングプラント事業」、「メカトロシステム事業」および「農業用設備事業」の3つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントの主要な製品は、以下のとおりであります。

セグメントの名称	主要製品
パッケージングプラント事業	ボトリングシステム（充填システム、キャッピングシステム、ラベリングシステムなど）、製函・包装システム、製薬設備システム（医薬品製造システム、アイソレータなど）、食品加工システム、洗浄設備システム、再生医療システム（細胞培養アイソレータ、ロボット自動細胞培養システムなど）、固液混合分散システムなど
メカトロシステム事業	半導体製造システム（ハンダボールマウンタ、ワイヤボンダ、LED検査装置など）、医療機器（レーザ手術および治療装置、人工透析装置など）、切断加工システム（レーザ加工機、ウォータージェット切断加工機など）、超音波発生装置、油圧プレス機など
農業用設備事業	農業用選果・選別システムなど

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は営業利益ベースの数値であり、セグメント間の内部売上高および振替高は市場実勢価格等に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2024年7月1日 至 2025年6月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務 諸表計上 額(注) 2
	パッケージ ングプラ ント事業	メカトロ システム 事業	農業用設備 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	80,081	37,765	11,170	129,017	—	129,017
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,055	1,067	1,254	3,377	△3,377	—
計	81,136	38,832	12,425	132,394	△3,377	129,017
セグメント利益	12,574	2,341	1,042	15,958	△2,209	13,749
セグメント資産	67,970	37,472	15,571	121,014	38,412	159,426
その他の項目						
減価償却費	1,895	818	199	2,913	108	3,022
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	2,275	762	4,005	7,043	100	7,143

(注) 1. 調整額の内容は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△2,209百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,215百万円および棚卸資産等の調整額5百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額38,412百万円には、各報告セグメントに配分していない全社資産38,485百万円および棚卸資産等の調整額△73百万円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない余資運用資金（現金及び預金、投資有価証券）および管理部門に係る資産であります。
 - (3) 減価償却費の調整額は、全社資産に係る減価償却費であります。
 - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、全社資産の増加額であります。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業損益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 2025年7月1日 至 2026年6月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務 諸表計上 額(注) 2
	パッケージ ングプラ ント事業	メカトロ システム 事業	農業用設備 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	84,041	38,997	12,574	135,613	—	135,613
セグメント間の内部売上高 又は振替高	584	965	842	2,391	△2,391	—
計	84,625	39,963	13,416	138,005	△2,391	135,613
セグメント利益	13,239	1,781	520	15,541	△2,460	13,081
セグメント資産	73,510	44,790	16,587	134,888	38,391	173,280
その他の項目						
減価償却費	1,909	878	519	3,307	124	3,431
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	5,066	2,410	250	7,728	274	8,002

(注) 1. 調整額の内容は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△2,460百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,469百万円および棚卸資産等の調整額9百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額38,391百万円には、各報告セグメントに配分していない全社資産38,458百万円および棚卸資産等の調整額△66百万円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない余資運用資金（現金及び預金、投資有価証券）および管理部門に係る資産であります。
 - (3) 減価償却費の調整額は、全社資産に係る減価償却費であります。
 - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、全社資産の増加額であります。
2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業損益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2024年7月1日 至 2025年6月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	中国	アジア	北米	その他	合計
75,626	12,817	17,895	15,408	7,270	129,017

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称または氏名	売上高	関連するセグメント名
ニプロ株式会社	21,841	メカトロシステム事業および パッケージングプラント事業

当連結会計年度（自 2025年7月1日 至 2026年6月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	中国	アジア	北米	その他	合計
80,271	15,506	18,701	13,288	7,846	135,613

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称または氏名	売上高	関連するセグメント名
ニプロ株式会社	22,850	メカトロシステム事業および パッケージングプラント事業
株式会社アセプティック・システム	15,117	パッケージングプラント事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年7月1日 至 2025年6月30日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2025年7月1日 至 2026年6月30日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年7月1日 至 2025年6月30日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2025年7月1日 至 2026年6月30日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年7月1日 至 2025年6月30日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2025年7月1日 至 2026年6月30日）

該当事項はありません。

（1株当たり情報）

前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)		当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)	
1株当たり純資産額	3,900円84銭	1株当たり純資産額	4,304円28銭
1株当たり当期純利益	363円34銭	1株当たり当期純利益	369円52銭
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

（注）1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当連結会計年度 (2026年6月30日)
純資産の部の合計額	107,930百万円	119,091百万円
純資産の部の合計額から控除する金額 (うち非支配株主持分)	8百万円 (8百万円)	8百万円 (8百万円)
普通株式に係る期末の純資産額	107,921百万円	119,083百万円
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数	27,666千株	27,666千株

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
親会社株主に帰属する当期純利益	10,052百万円	10,223百万円
普通株主に帰属しない金額	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益	10,052百万円	10,223百万円
普通株式の期中平均株式数	27,666千株	27,666千株
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1株当たり当期純利益の算定に含めなかった 潜在株式の概要	—	—

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

4. その他

(1) 受注の状況

① セグメント別の受注高

(単位：百万円)

セグメントの名称	前連結会計年度	当連結会計年度	対前年比
			%
パッケージングプラント事業	73,297	77,081	+5.2
（酒類用プラント）	(3,886)	(4,139)	(+6.5)
（食品用プラント）	(49,960)	(52,803)	(+5.7)
（薬品・化粧品用プラント）	(13,757)	(17,085)	(+24.2)
（その他）	(5,693)	(3,051)	(△46.4)
メカトロシステム事業	36,239	40,767	+12.5
農業用設備事業	10,830	15,039	+38.9
合 計	120,367	132,888	+10.4

② セグメント別の受注残高

(単位：百万円)

セグメントの名称	前連結会計年度	当連結会計年度	対前年比
			%
パッケージングプラント事業	72,872	65,912	△9.6
（酒類用プラント）	(3,292)	(2,615)	(△20.6)
（食品用プラント）	(45,925)	(41,296)	(△10.1)
（薬品・化粧品用プラント）	(20,206)	(18,568)	(△8.1)
（その他）	(3,448)	(3,431)	(△0.5)
メカトロシステム事業	10,948	12,718	+16.2
農業用設備事業	9,358	11,823	+26.3
合 計	93,179	90,454	△2.9

(2) 役員の異動

① 代表取締役の異動

該当事項はありません。

② その他の役員の異動

(1) 新任監査役候補

稲 葉 良 二 社外監査役（非常勤）

(2) 異動予定日（定時株主総会開催予定日）

2026年9月25日